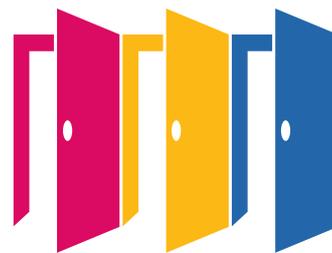




37 創立：1984.7.10/証認：1984.8.6
国際ロータリー第2660地区

大阪鶴見ロータリークラブ会報

事務所：〒534-0026 大阪市都島区網島町9番10号 太閤園内
電話：06-6357-8171 ファックス：06-6357-8011
例会日：毎週火曜日 12時30分/例会場：太閤園
会長：濃添敬造/幹事：吉羽潤司/SAA：中村浩一
電子メール：rcosatrm@cf.mbn.or.jp
ホームページ：http://rc-osaka-tsurumi.jp/



ロータリーは機会の扉を開く

本日の例会

〈第1715回〉 2021年6月29日(火) 本年度第39回

卓話

理事・役員退任挨拶

担当：理事・役員

●ロータリーソング
ROTARY

●ランチタイムミュージック

次回の例会

7月6日(火)

次回卓話

理事・役員就任挨拶

担当：理事・役員

前回の報告

会長インフォメーション

PRESIDENT INFORMATION

会長：濃添 敬造

Qアノン

さまざまな波乱の末、アメリカのバイデン大統領が就任して半年、インターネット上では、いまだにQアノンの言われる陰謀論者の人々がさまざまな発言を行っています。Qアノンという言葉は、2017年アメリカで、Qというハンドルネームの個人が匿名掲示板4チャンネルに投稿を開始したことに始まり、匿名を意味するアノニマスをくっつけた言葉で、日本で陰謀論を展開する人々はJアノンと呼ばれることもあるようです。Qアノンは、アメリカでは一般的にはカルト宗教の一種とみなされているようですが、東京新聞の記事によると、米公共宗教研究所がまとめた調査によるとQアノン信奉者はアメリカ国内で人口の1割、3000万人いるとしています。本当でしょうか？

今年1月6日おきた連邦議会占拠事件にショックを受けた、Google、Facebook、Twitterなどの主要

ネットメディアは、Qアノン対策を強化、主要SNS上の発言は急減しているようですが、それに変わる新興SNSが数多く現れ、そこではQアノンの言及が急増しているそうです。

メディアの世界ではネガティブな情報は、明るいニュースの20倍の速度で拡散されると言われています。さらに過激な陰謀論はYoutubeなどではバズりやすく、しかも広告収入があるため、莫大な利益を得る投稿者が存在します。問題発言をチェックされ、アカウントが停止されるまでに儲けては店じまい、引っ越しを繰り返す投稿者も存在するようです。SNSは放送局などの免許媒体ではないのです、陰謀論の中には正しい情報もあるでしょうが、一般的な人々はそれを確かめることは、たいへん困難な時代となっています。Qアノンの現象は情報量の増えた今、自分で考えることの重要性を突きつけているのではないのでしょうか。

ロータリー親睦活動月間

大阪鶴見ロータリークラブテーマ「Regrowth(再び成長する)の機会を！」

■事務局引越しについて

新住所は下記の通りとなります。

〒540-0001 大阪市中央区城見2丁目2番22号
ホテルモントレ ラ・スール内(2階)

(例会場は15階)

電話番号 06-6357-8171

FAX 06-6357-8011

注意;電話、FAXは7月2日から新住所を利用して
ください。

7月1日は、携帯電話以外は繋がらない前提にてお
願いいたします。

下記の日程、割振りにて実施いたします。

- ・7月1日 荷物運搬・太閤園引払い
作業立会;濃添会長、田中会員、吉羽
- ・7月2日 通常業務復帰作業
作業立会;鳥居エレクト、須田副幹事、水口会員

会報での幹事報告も今回が最後となります。コロナ
禍、太閤園閉鎖に漂流した1年間となり、足らない点
が多々あったかと思いますが、鶴見ロータリークラブ
2020-2021年度の運営にご協力頂きました皆様、ご
協力に深謝申し上げます。

 **NIKONIKO箱** 

¥48,000.- 累計 ¥277,000.-

- 秀島会員 このまま、コロナが収まると良いですね。
- 覚野会員 本日卓話担当です。谷会員にピンチヒッ
ターお願いしました。
- 水間会員 皆さんお久しぶりです。
生でお元気な顔を見て嬉しいです。
- 大草会員 久しぶりに、みなさんにお会いでき、
HAPPYです。
- 田中(英)会員 太閤園ありがとうございました。
- 田中(信)会員 久しぶりに皆さんの顔とお会い出来て
大変うれしく思います。あと1回で太閤園
とおわかれです。
- 津野会員 おひさしぶりでございます。
太閤園様、ありがとうございました。

浮舟会員 鶴見ロータリーで37年
我々のグループで多くの研修や会議、海
外のお客様に大変喜ばれた淀川
亭………ありがとう 太閤園

山崎会員 ほんとうにお久しぶりにリアルで皆様にお
会いできて嬉しいです!!やっぱりいいで
すね!!

大阪鶴見RC国際交流基金

¥26,000.- 累計 ¥93,000.-

- 秀島会員 お久しぶりです。
トラベルDXにこっています。
- 田中(英)会員 ごぶさたして恐縮です。
早く平時にもどることを祈念します。
- 田中(信)会員 皆さんお久しぶりです。

浮舟会員

ロータリーの友6月号の紹介

委員
津野 友邦

◦縦書きP26

ROTARY AT WORKで当クラブの留学生によ
る日本語作文コンクールが紹介されています。

第27回の表彰式の写真と共にその歴史等に紹介さ
れています。

1989年にIM6組のホストになった際に「留学生問
題を考える」をテーマにバズセッションを行ったことを
機会としてクラブ独自の国際交流基金を立ち上げて、ク
ラブ10周年を迎えた1994年にこの基金を原資として
当コンクールがスタートしたと紹介されています。

若い二人が母国を離れ強い信念でそれぞれの地で
活躍されています。

そしてこれからのビジョンを語られています。一部抜
粋。

ハリーム氏「地域を元気にする活動をエジプトから。
いずれはアラブ諸国にも広げていきたい。」河合氏「そ
の国への理解と尊敬の念を持つこと。変えるのではなく、
現地の人に寄り添い共同で新たな方向性を作る姿勢を
大事にしたい」

今後の活動に注目です。

◦横書きP3

RI会長メッセージ

新型コロナウイルスの影響でロータリーの在り方を改
めて考える新たな機会を得ることができたと述べられて
います。

次の段階はコロナ前の様式に戻るのではない、先に進まなければならないということ。

クラブの力を保つためには、あらゆるレベルで若さと多様性が必要であるということ。

「環境」という新しいロータリーの重点分野に取り組む機会が誕生したこと。

今後の例会の在り方や取り組む活動など、これからのクラブ運営のヒントになる内容だと思いました。

残り99.75%の人たちはコロナCOVID-19以外の原因で亡くなられたのです。

何故これ程騒ぐ必要があるのでしょうか？

さて今回のCOVID-19騒ぎは当初から訳の分からない事ばかりでした。

先ず 何故不正確なPCR検査を検出に使用したのか全く不明です。

疑陽性率は高く（少なく見積もっても30%）遺伝子を増幅するので時間はかかりしかもインフルエンザウイルスやアデノウイルス等でも陽性に反応する検査である事は周知の事実だったにもかかわらず。

又PCR検査陽性者を感染者と意図的に不正確な報道も続いています。

更にこれも何の根拠も無くCOVID-19を感染症法分類の指定感染症扱いにしてしまいました。

指定感染症になると 感染症法第一又は第二類感染症扱いされて原則入院対応が必要になってしまいます。そのために医療現場は崩壊寸前まで追い込まれてしまったのです。

客観的医学的に見れば 第五類感染症扱いするべきもので それならばこんな大騒ぎになりようがありませんでした。

感染経路は【接触感染と飛沫感染】と考えられていますので手洗いやマスク着用は適切な対応かと思いますが満員電車の恐怖に言及せず禁煙の大切さにも触れる事が無いのも理解出来ません。

今回のウイルスはRNAウイルスに属していてインフルエンザウイルスも同様ですがRNAウイルスは早ければ6時間で変異していきますので効果的なワクチンを製造するのが困難なのです。

ワクチンを製造する場合先ず薬剤を作り動物や細胞を対象に【非臨床試験】（3～5年）を行い厚生労働大臣に【治験計画】を提出次にヒトを対象に【臨床試験＝治験】を第一相から第三相まで（3～7年）かけて薬剤の安全性・適応疾患・適応量・既存薬との比較をします。

そしてしっかりとした結果が見られた場合（申請→審査→承認→製造→販売に至るのです。（1～2年）

（4ページに続く）

出席報告		6月22日【1714回】	
会員数	29名	ビジター	0名
(内出席規定免除)	11名	ゲスト	1名
出席会員	18名中 15名	出席総数	23名
(内オンライン参加)	0名	前々回	6/1 M/U 1名
出席免除会員	11名中 7名	修正出席率	80.00%
(内オンライン参加)	0名		
出席率	22/25 88.00%		

卓話

コロナ禍

講師：谷会員

担当：覚野会員



2019年12月08日中国武漢で始まった不思議な感染症騒ぎは一年七か月を経て未だ解決の見込みの無い状況が続いています。

06月04日厚生労働省が発表した2020年人口動態統計によると昨年一年間で新型コロナウイルス感染症（正しくはSARS-CoV-2に因るCOVID-19）に因る死亡数が何と3466人でした。

あれだけ騒いであれだけ怖がらせて COVID-19に因る死亡数は年間死亡者数1372648人の僅か0.25%に過ぎません。

(3ページより)

更に販売開始後も【製造販売後臨床試験＝第四相試験】を実施して 使用成績を調査してるのです。

即ちまともなワクチン製造には最低でも（7～14年）必要とします。

それがデビューして僅か一年半のCOVID-19の自称ワクチンは 客観的評価特に中長期的データ等無いままに世界的規模の治験を開始したのです。

治験ですから無料は当然でありますし副反応が見られても製造メーカーは免責、国が一元的に対応する事になっていますが06月24日現在ワクチン接種後356人死亡が確認されていますがただの一例も因果関係を認めていないのが現状です!!

03月末に厚生労働省の役人たちが夜中まで宴会をしたのも04月20日に中川日本医師会長以下幹部が自由民主党自見議員の選挙資金パーティに参加したのもその程度では感染しないか感染しても大したことにはならないと分かっていたからにはほかなりません。

いずれにせよ今春の医療系国家試験（医師／看護師／柔道整復師／理学療法士／救急救命士等）において一切【新型コロナウイルス感染症】関連の問題は出題されていなかった事は国家試験出題委員の先生方の良識（＝不明な点が多々あるコロナ関連問題を避ける）を感じさせるものでした。

ワクチンという名の遺伝子組み換え治験薬接種には際しては前日に健康診断を受けて自らの体調の現状を把握した上で副反応が見られた場合客観的に証明出来る資料を準備してから接種される事をお勧め致します。

勿論 接種しないという選択肢もある事をお忘れなく。



卓話

CPAOの活動について

認定NPO法人 CPAO
代表理事 徳丸 ゆき子

担当：源会員



長引くコロナ、緊急事態宣言、また大阪では観測史上初の例年より1ヶ月ほど早く来た梅雨入りによる影響もあり、経済的に、また心や身体を壊す方々、あとはストレスによる様々な暴力も増え、子どもの預かり、送迎、買い物やそうじなど家事サポート、行政や病気への同行サポート、DV対応、借金の債務整理など、相談、サポート依頼が増え、その対応に追われています。

活動は止まることなく、ご支援くださる方々、ボランティア、スタッフ、また新しく始まった、シングルマザーと若者の就労サポートなど協力してくださる方も増え、なんとか滞りなく、毎日休みなく、ますます増える活動を支えてくださっています。

依頼が増える一方で、仕事が決まったり、生活保護につながるなど、少し生活がましになったという方もいらっしゃいますが、まだまだ手が足りていません。

しかし、心ある方々とのつながりを大切に、しんどい状況に置かれている子どもたちを親子丸ごとのサポートが継続できるよう、引き続き、ご支援、ご協力くださいますよう、よろしく願いいたします。

認定NPO法人 CPAO
代表理事
徳丸 ゆき子

担当：山崎会員